

更にランクアップ! 改革意識・スキルを育成
社会人向けセミナー
中核人材育成塾 2023

アドバンス
コース
全6日
6講座

第1講 8月3日(木) 生き生きした職場の 作り方	第2講 8月31日(木) 環境問題と廃棄物 処理の実務	第3講 9月14日(木) 現場でおさえる会計と 原価・在庫・LTの話
第4講 9月28日(木) もうけを生む生産設備 改善の進め方	第5講 10月12日(木) 問題発生 of 未然防止の ポイント	第6講 10月26日(木) 経営資源から儲けを考 えよう

対象	現場のリーダーや管理者(中核人材)の皆様 経験年数10年程度以上
定員	各講座30名 社複数名も可 1日単位の受講も可能です
時間	9:30~16:30 6時間 (9:00から受付)
会場	岐阜工業高等専門学校(図書館棟、他) 岐阜県本巣市上真桑2236-2
講師	企業での豊富な経験や知識を有する岐阜高専OBが担当します
参加費	1日 1名 会員:7,000円、非会員:10,000円
詳細	岐阜高専地域連携協力会HP https://www.gifu-nct.ac.jp/cooperative/



申込期限	2023年7月7日(金)まで
申込方法	下記のリンク先か、右のQRコードからお申し込みください https://forms.office.com/r/BEnkztAiKx



主催:岐阜工業高等専門学校 地域連携協力会



やる気を引き出し、やりがいを実感できる 生き生きとした職場の作り方

8/3(木)
9:30~16:30
図書館棟(予定)

私達の職場では若手から中堅、シニアのベテラン、外国人等多様な人材で成りたっており、その価値観の違いや変化に直面しています。個々人の能力や個性を見出してやりがいを実感でき働きやすい職場を作ることにはリーダー・管理者の優先課題の一つです。事例と演習を通じて実践手法を皆さんと一緒に考えます。

講師 高津 正吉

大手工作機械メーカーの米国工場にて現地化設計、生産・品質管理、人材育成等工場マネジメントの実務経験を持つ。



1. 職場における人材育成の意義、狙い

- 1 ものづくり現場を取り巻く環境の変化
- 2 働くことの真の意味を腹落ちする
- 3 職場を動かすのは自律・自走型人間
- 4 職場は自分の成長を実感する場

2. 部下を自律・自走型に変身させるには?

- 1 やりがいを生むGPDCA (Goal-Plan-Do-Check-Action) サイクル
- 2 ティーチングとコーチング技術を活かす
- 3 OJT (On the Job Training) は知識や考え方を伝えるチャンス【演習1】
- 4 部下を育てる質問の仕方

3. 明るく・元気に・楽しく働きたくなる職場

- 1 若手や新人の気質を踏まえた指導のポイント
- 2 やる気を引き出すほめ方、叱り方
- 3 やらせっぱなし、任せっぱなしは責任放棄
- 4 自分の言動が映る部下の「報・連・相」

4. 自分が変われば部下と職場は変わる

- 1 リーダー・管理者のあるべき姿【演習2】
- 2 部下の“知ってもらいたい”に応えるには?
- 3 他者を育てることは「自分改革」につながる
- 4 「奇跡の7分間」(テッセイ社)から学ぶ



環境に迷惑を掛けない 環境問題と廃棄物処理の実務

8/31(木)
9:30~16:30
図書館棟(予定)

環境問題は生産などで資源・エネルギーが消費され環境への影響要因(排水、排ガス、廃棄物など)を排出した結果で、影響は温暖化など地球的規模に広がっています。対応は、環境法を基に製造現場などの影響要因を把握し、処理・管理することが重要で、環境担当の方に、法の仕組みを分かり易く説明し、事例で理解を深めて頂きます。

講師 三口 榮一

自動車部品メーカーにて、環境対策に取り組み、水質、騒音、地下水、廃棄物など幅広く、実態把握、計画、実施、管理までの実務を経験した。



I. 環境問題への取組

1. 環境問題とは

- 1 地域環境問題、地球環境問題

2. 環境問題の歴史、四大公害

3. 地球温暖化とプラスチック海洋汚染

4. 環境問題への対応

- 1 対応の考え方と法規制: 生産規制、排出規制
- 2 企業の取組: 管理体制、製造現場の役割

5. 事例

- 1 省エネ(CO2)低減の考え方
- 2 水質、騒音、省エネ、SDGs

※本研修に参加される方は、会社の環境対策、発生廃棄物の種類・分別状況をご確認して、参加下さい

II. 廃棄物の処理

1. 処理の目的、用語

2. 排出実態の把握が第一歩

- 1 廃棄物と有価物
- 2 廃棄物の種類(一般廃棄物、産業廃棄物)

3. 適正に処理するには

- 1 廃棄物の保管・収集運搬・処分の基準

4. 適正処理を委託するには

- 1 処理委託基準と処理業者の選定、委託契約
- 2 マニフェストで適正処理を確認

5. 事例

- 1 廃棄物低減活動
- 2 不法投棄、不適正処理、異物混入事故

3

現場でおさえる会計と原価・在庫・LTの話

9/14(木)
9:30~16:30
図書館棟(予定)

さまざまな日常業務の中で部門リーダーには、利益と儲けのちがいを理解し企業競争に勝ち抜くため、自部門が作り出す製品の付加価値に基づく原価低減の質向上・高度化が求められている。本講座では原価改善の会計をわかりやすく解説し、具体的演習もまじえ現場で直ちに実践・展開できる考え方を身につけます。

講師 奥野 泉

情報通信機メーカーで通信技術と営業畑業務に亘る広範な実務経験とノウハウを有し技術思考に基づく営業・会計分野の見方に特異性がある。



1.現場で押さえる会計

- 1 データのデジタル化と見える化
- 2 現場と総務・経理の問題解決方法
- 3 デジタル化・見える化の道具
- 4 儲けに見える化する

2.やさしい原価と利益の話

- 1 原価と利益及び儲けの違い
- 2 原価改善活動の重要ポイント3つ
- 3 採算判定ができる付加価値会計
- 4 コスト分解による原価低減の切り口

3.品質・在庫と原価構造

- 1 市場と原価低減活動
- 2 ものづくりの標準的原価構造

- 3 付加価値を測るモノサシ
- 4 モトが取れる販売個数の計算 【演習】

4.コストの見える原価計算

- 1 自分の1時間人件費と自部門賃率
- 2 現場におけるコスト(LT)見える化
- 3 失敗コストを金額で把握してみよう
- 4 外注費でよくある勘違い 【演習】

5.静かに増える見えない原価

- 1 現場の盲点機会損失・機会費用・埋没費用
- 2 外注費・LT・生産性
- 3 なぜ在庫は嫌われるのか
- 4 在庫管理の押さえどころ

※ 電卓・定規(20cm)を持参ください。

4

もうけを生む 生産設備改善の進め方

9/28(木)
9:30~16:30
図書館棟(予定)

企業競争を勝ち抜くにはコスト削減は不可欠で、“ものづくり現場”では最重要課題として常に改善が続けられています。改善には設備投資を伴うものが多くあり、投資に見合う利益が得られなければ損失となってしまいます。本講座では、改善の見つけ方、設備投資での考慮事項と導入手順、設備の保全管理などを、講師の実体験をもとに分りやすく解説します。

講師 向井 軸郎

生産技術業務を担当し、製造現場での生産方式の改善、合理化投資などを経験。生産技術部門の責任者として実務の経験と知識は幅広いものがある。



1.もうかるポイントはどこにもある

- 1 原価を知る
- 2 コスト削減テーマの見つけ方

2.生産工程の改善の進め方

- 1 改善手順と対象作業の見つけ方
- 2 対象作業の分析の仕方
- 3 ムダな作業の見つけ方
- 4 作業性の改善
- 5 治具化の狙いと効果
- 6 機械化・自動化に際して考慮するポイント
- 7 改善を進めるに当たっての注意点

3.設備投資による改善を進めるには

- 1 設備投資の計画から稼働までの手順

- 2 投資額の見積もりのノウハウ
- 3 投資の利益・不利益の検討ポイント
- 4 投資の経済性評価の方法
- 5 稟議書作成のポイント
- 6 発注から稼働までの注意点

4.他もあるコスト低減対象

- 1 省エネルギー化の目の付けどころ
- 2 購入部品や外注品の内製化のポイント

5.設備の保全管理の進め方

- 1 TPMとは
- 2 設備の効率化を阻害する6大ロス
- 3 職場に於ける自主保全活動の重要性
- 4 計画保全の進め方
- 5 設備の不良対策事例

5

リーダーがやらねばならぬ 問題発生の未然防止のポイント

10/12(木)
9:30~16:30
図書館棟(予定)

ものづくり現場におけるQCDを安定させ収益を確保することはリーダーや管理者にとって大きな使命。何かを変更すれば失敗は付きものですが失敗を極小にすることは可能。現場で起こる事象や担当者の悩みを的確につかみ、問題の発生を未然に防止する方法を講師の実体験をもとに、各種の手法と演習を交えながら解説します。

講師 坂井 善幸

電機メーカーにてマイコン応用製品、パワーエレクトロニクス製品、電力会社向けシステム製品などの開発設計業務を担当。設計開発のほか、営業や生産改革の経験が豊富。



1. 問題はいつ・なぜ発生するのか？

- 1 ものづくりの流れ
- 2 どんな問題が発生しているのか？
- 3 問題は5つに区分
- 4 5つの問題発生要因

【演習1】

2. 問題発生を未然に防止するには

- 1 抽象的な仕様を具体化させる方法
- 2 設計不備と変更点管理不備を見抜く5つの手法
- 3 製造の先手必勝術
- 4 初期発生問題の見逃し防止術
- 5 リーダーが事実を知るテクニック

【演習2】

3. 成功事例と失敗事例

- 1 見える化で早期仕様確定
- 2 協力会社とのリモートコミュニケーション
- 3 初品検査データの監視不具合

4. 未然防止は毎日の積み重ねから

- 1 稼働品質の把握と改善
- 2 生産品質の把握と改善

【演習3】

- 3 実力コストの把握と改善
- 4 次期モデルの構想検討と要素試作

6

経営資源から儲けを考えよう

10/26(木)
9:30~16:30
図書館棟(予定)

6つの経営資源の中から特にヒト、カネ、時間に注目して、儲けをもっと増やすには、どうしたらよいのかを一緒に考えたいと思います。受講者皆様方の質問や関心事を討議したり、お答えする時間もありますので、製造業だけでなく、また間接部門からのご参加もお待ちしております。

講師 廣瀬 満浩

機械と電子を学び、大手事務機にて技術と事務、3カ国駐在、子会社社長、非常勤講師などを経験。現在自動車部品メーカーに勤務中。



1. 経営資源について

- 1 利益=儲け？
- 2 6つの経営資源とは
- 3 本日扱う経営資源と儲け

2. ヒトと儲け

- 1 ヒトがもたらす儲け
- 2 じんざいと戦力化
- 3 グループワーク

3. カネから儲けを考える

- 1 会社のお金の流れを掴む
- 2 BEPから利益改善を考える
- 3 BEPから損失防止を考える

4. 時間からどう儲けるか

- 1 時間は平等、差はどこで
- 2 儲けに繋がるTM
- 3 道具を使おう

5. 皆さまとの時間

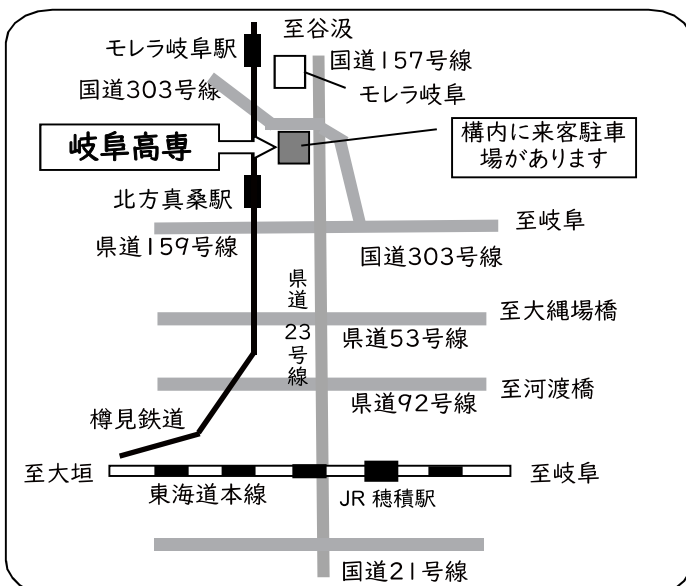
- 1 グループ討議
- 2 質問にお答えする

5では、お互いから学び合ってください。日頃思っていること、感じていることや疑問などをお持ち寄りください。もちろん研修中に思いついたことでも結構です。

NO.	講座名称	講師からのひとこと
1	活き活きた職場の作り方	チームや組織が持つ力を最大限引き出すために日夜モヤモヤ悩んでおられる方々に解決へのヒントや新たな気づきを得ていただき実践の場でお役立てください。
2	環境問題と廃棄物処理の実務	温暖化防止、プラスチック海洋汚染防止など地球環境の為の行動がますます求められます。製造現場や日常生活などで、できることを見つける際のヒントに活用して下さい。
3	現場でおさえる会計と原価・在庫・LTの話	会計的仕分けを使う、なぜなぜ分析と自身・自社の現金実入りを増やす気づき(ムダ取り)及びその見える化のお話です。
4	もうけを生む生産設備改善の進め方	作業改善を通して設備の計画から導入、保安全管理までを扱っています。こうした業務に携わった時には活用して下さい。
5	問題発生の問題未然防止のポイント	毎日の生産活動において、どんなことをすれば問題発生の問題未然防止が可能になるのかを具体的にお話します。
6	経営資源から儲けを考えよう	業種や職務を問いません。御社の管理職をぜひご派遣してください。この研修を通して他社の方々と共に切磋琢磨し、更なるご活躍への一助となることを願っております。

【本講座では新型コロナウイルス感染症対策として下記の方策を取ります】

- ・受講前1週間の体調記録表を提出してください(受講責任者に記録表を配信します)
- ・受講日の朝、自宅にて検温し平熱をご確認の上受講をお願いします。
- ・受付時の検温で37.5℃以上の方は入場を控えていただきます。
- ・講師及び受講者共に不織布マスクを常時着用するものとします。
- ・アルコール消毒液を講義室の内外に準備します。
- ・受講者数に応じて会場でのソーシャル・ディスタンスを確保します。
- ・講義中も常時換気します。



【最寄バス停・駅】

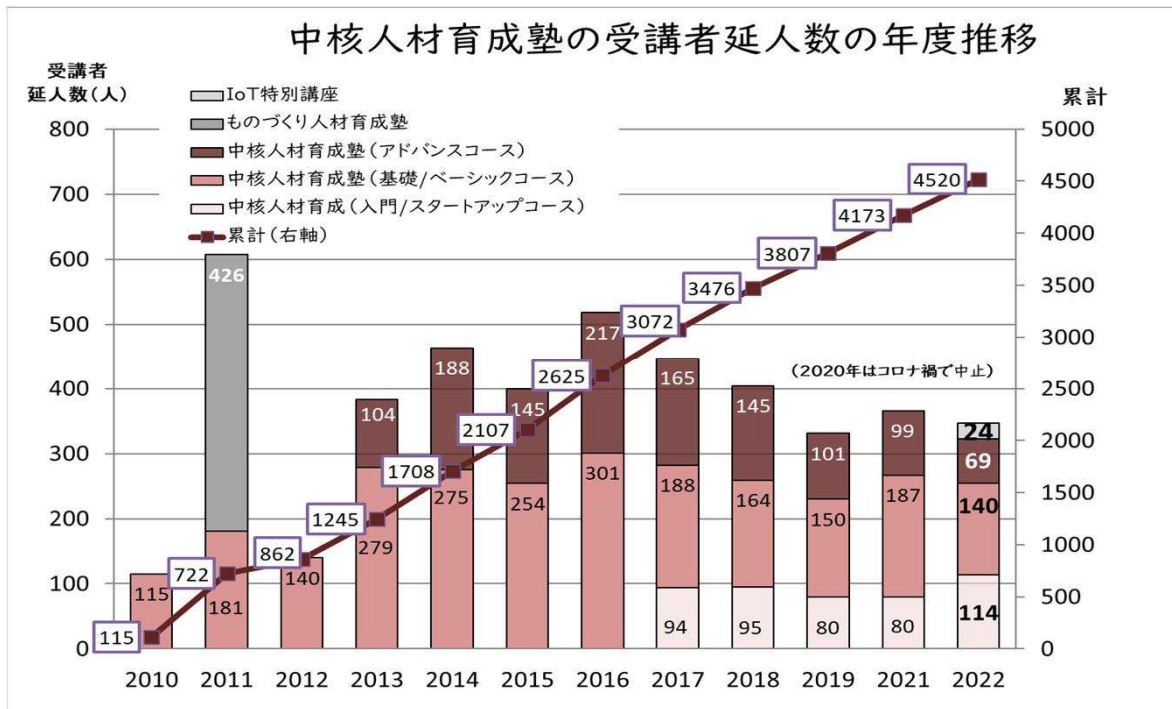
■岐阜バス		
岐阜高専バス停		徒歩 0分
高砂町バス停		徒歩 10分
モレラ岐阜バス停		徒歩 12分
■樽見鉄道		
北方真桑駅		徒歩 12分
モレラ岐阜駅		徒歩 12分

[ご参考]

中核人材育成塾の紹介

■ 中核人材育成塾の経緯

- 2010年に開講(14年目) 2011年までは国/県からの受託事業(受講料無料)
- 2012年から岐阜高専地域連携協会主催の事業として実施(有料化:商業ベースのセミナーより低額の受講料)
- 2013年から専門性を深めた「アドバンスコース」、2017年から企業経験の浅い方を対象に「スタートアップコース」を開講
- 2022年から岐阜高専の学生・教員も連携し企業現場のDX化を支援するIoT特別講座を開講
- 2023年度の講師は企業での実務経験が豊富な岐阜高専OB:12名が産学官連携アドバイザーとして担当



・講座の様子 写真左:スタートアップコース:グループ討議 写真中:同、討議結果の発表 写真右:IoT講座第2講

■ 受講者からのアンケート結果 (2022年度的全講座分から抜粋)

● 受講者の意見・感想

【スタートアップコース】

- ・[初めての5S] 実例の写真で説明頂いたので「自分の職場もこうなっていないか/なっているな」等ドキッとしながら、改善点に関して実感ももちながら講座を受けることができました。
- ・[標準作業を体感] 作業は口で言うのは簡単だが実際はムズカシイことが分かった。人間の性質を理解した上で、QCDを上手くバランスを保てる作業を考える必要があることがわかりました。
- ・[グループ討議] 難しい課題でもグループで話し合う中で色々な意見が出てとても良かった。リーダーとして意見を聞きまとめることが難しかったが、とても良い経験になった。

【ベーシックコース】

- ・[レゴブロックで学ぶ工程改善] 改善の必要がある問題点の探し方、気付き方を再認識できた。職場でも前任者が決めた配置を継続しているため動線がムダに多くなっている点があり見直していきたいと思う。
- ・[職場のコンプラ] 業務上で過失でも法令に抵触してしまうことも発生しうる。会社の法令順守、就業規則の確認や上長との報連相など基本的なことを重視して業務遂行していく必要があると再認識した。

【アドバンスコース】

- ・[生き活きた職場の作り方] 目標設定時に相手に考えさせる方法が具体的ですぐ分かりやすかった。自社や上長(職場)では学べない事を事例を交えながら学ぶことができ、大変満足しています。
- ・[リーダーの仕事術] 自分が納得することだけでなく、相手に伝わるような説明をしたい。演習、話し合いの時間を十分に取って頂いたので話をふくらませて考え、講習を受けることができました。